

## 平成 29 年度 地域 ICT 推進協議会 第 10 回 U-35 委員会 議事録

日 時：2018 年 2 月 6 日(火) 19:00～20:00

場 所：神戸市役所

参 加：秋國、孫子、奥村、加納、白浜、寺坂、服部、中嶋(記録)

### 1. 議事

#### (1) 次回イベントについて (担当:久保、白浜、中嶋)

前回委員会にて、次回イベントは「若者が COPLI に参加したくなるアイデア」を考えるアイデアソンとすることを方向付けたが、その開催日程について意見を交わす中で「休日に朝から集まって長時間行うアイデアソンは、そもそも若者にとって参加しやすいイベントなのか？」という疑問が発生。

これに対して議論を深めていった。

- ・ 前回委員会で「事前にオンライン上に参加者同士のコミュニティを作成し、心の距離感を詰めることでオフラインイベントへの参加ハードルを下げる試みを行う」とあったが、オンラインでアイデアをある程度詰めておけば、平日夕方から数時間程度のイベントにすることも可能では？
- ・ 最初からアイデアソンありきにすると参加をためらう若者もいるかも知れないので、オンラインである程度盛り上がるまで待ってからオフラインイベント(アイデアソン)へと誘導しては？
- ・ アイデアソンにはこだわらずに、オンラインからオフラインへの流れを作ることに注力しては？  
オフラインイベントは単なるオフ会(交流会)でも良いのでは？
- ・ オンラインを盛り上げるためには何かテーマが必要。  
単にコミュニティを作成するだけでは盛り上がらない。
- ・ まずは U-35 メンバーでコミュニティを盛り上げておいて、後から若者に参加してもらっては？
- ・ 何か目的が無いとコミュニティの盛り上がりを維持することは難しいので、良いアイデアを出した参加者には賞品や賞金を出すなどしては？  
また、地域貢献に繋がるようなテーマを設けることで盛り上がりを維持できないか？

#### 【結論】

- ・ オフラインイベントである「アイデアソンの開催」は一旦保留、何かテーマを設けてオンラインコミュニティでの意見交換を実施する。
- ・ 期間は 3 月末まで。3 月末時点での結果から、どんなテーマなら、どんなコミュニティなら若者が参加しやすいのかを考察する。
- ・ プラットフォームは「Slack」。様々なアプリやツールはあるが、若者に気負わず参加して欲しいとの思いから今回は Slack(ゆるい、たるんだ の意)を選択。

- ・ 参加者は全員ハンドルネームを使用することで個人を特定しない。

#### テーマ案

エンジニアの子どもに対する IT 教育について
男女の出会いについて
普段どこで買い物していますか？
どんな本を読んでいますか？
副業(複業)についてどう思いますか？
IT 企業なのに IT 化されていなくてストレスを感じるどころ
IT 企業あるある
仕事の役に立った本を教えてください
上司の上手な扱い方

#### 【今後の進め方】

次回幹事会(2/20(火))までに、イベント担当が Slack 上に上記テーマ案でコミュニティを作成、U-35 メンバーを招待して登録されている状態にしておく。

幹事会にて若者の参加を呼びかけ、本試みをスタート。

同時に COPLI メルマガでも参加を呼びかける。

### 3. 次回開催予定

日時：2018年3月7日(水) 19:00～

場所：神戸市役所

以上